

売り手市場で勝ち抜く採用試験改革(奈良県生駒市)

人口 120,596人 (H30.1.1現在)

担当 市長公室 人事課

取組概要

少子高齢化時代に新しい住宅都市としてのありかたを共に模索し、地方創生を担うことができる優秀な職員の採用に向け、「公務員は選択肢にない」という民間企業志望者にも広く受験してもらうため、採用日程の早期化、採用広報・説明会の積極展開、SPI3の導入(従来の公務員試験の廃止)、人物重視の採用方式への移行など採用試験改革を進めました。

取組の効果

- 採用試験改革により**毎年1000人規模**という全国屈指の応募者数を確保しています。また、雑誌『日経グローバル』(NO.307、平成29年1月2日号)で公表された全国の自治体正職員の**応募倍率(平成28年度)では関西1位、全国8位**にランクインしました。
- 職場で発揮するパフォーマンスが高いだけでなく、自ら考え行動できるチャレンジングな人材が確保できています。(若手職員自主勉強会の立ち上げなど)

創意・工夫した点

- ポスター・動画作成や説明会、採用面接など各分野で組織全体が連携協力して、採用活動に取り組みました。
- 採用広報の手法に、若手職員の提案を積極採用しました。

他団体へのアドバイス

もし優秀な人材を採用したいと考えるなら、人事担当だけでなく、組織ぐるみで採用活動に力を入れるべきです。また、採用はシティプロモーションとしての側面もあり、若年層に対する自治体の魅力発信にも効果があります。



平成26年ポスター
「現状打破」

平成29年ポスター
「#生駒は違う」



平成30年ポスター「AIにはできない仕事」